

日本大学医学部入試 実戦模試

2012年
1月2日(月)・3日(火)・4日(水)



2011年度 日本大学医学部入試
本科生最終合格(二次合格)5名!
ウインダムは日本大学医学部入試に断然強い!

模試 採点 解説 重要問題詳解 判定

1月2日(月)
実戦模試を受験

1月3日(火)・4日(水)

答案返却と解答解説+頻出重要問題講義

以上の2つのステップで実施します。

今年もやります! 日本大学医学部入試を徹底研究!

日本大学医学部を受験するということ

日本大学医学部の特徴といえば、

1. 問題がいい、すなわち良問揃い。

理科はバランスの取れた出題内容で、知識、計算、考察とありとあらゆるバリエーションがあり、設問は年々解きやすくなっています。

2. いままでは傾向が読めなかった。

これは大学側が意図的に変えているのです。また、日本大学は日本有数の総合大学であり、問題のストックは豊富です。よって、傾向を変えることも難なくできます。しかし、ここ2年間は出題形式が変わったこともあり、安定した傾向が続いています。

3. 英数主体で、試験が終了した時点で合否がわかる。

勝負はやはり前半戦の英語と数学。75%の得点率を確保しなければ8割の手ごたえが必要です。特に英数が記述の場合、自己採点は甘くなりがちですので、あえて80%の得点が必要だと明記しておきます。

4. とにかく千秋楽。

関東の旧設医大を狙うということでは…。

5. 受験者数はうなぎのぼり。

ここ数年、3000人強!しかし、一次合格数は変わりません。

ここで注目して頂きたいのは、4.の千秋楽ということなのです。千秋楽にあるということは、受験経験も積んで、ここで開花する可能性も充分ありえるということなのです。

人間は経験を積むことで対処方法を学びます。もし、1月からの受験で振るわなくても、しっかり自己洞察し、学習を続けていれば、必ずここで実を結ぶことができるのです。

ウインダムの本科生でも毎年みられます。藤田に落ちて日大に合格。11連敗で日大に正規合格。これを、たまたまだと思いますか?あの倍率で偶然合格はありません。やはり開花したのです。だから「受験校で一番できた」とか「いままで受けた受験校で一番やさしいと感じた」と感想を漏らす本科生が多くいます。諦めないで頂きたい。

日本大学医学部実戦模試の概要

本講座は、模試と解説授業がセットになった新しいタイプの模試講習です。受講生はまず、日本大学医学部の入試形式(問題形式・解答用紙・試験時間)に沿って模試を受験します。そして翌日、採点された答案を手元に置いて、講師の講義を受けながら、どこにつまずいているのか、何が足りないかなどの自己分析をします。

ただ実戦模試で出題される問題は限られており、前述したように日本大学のような総合大学では、意図的に傾向を毎年変更し、出題癖を悟られないように工夫しています。特に理科についてはマーク方式が導入されてから2年ですので、予断の許さぬ状態が続いています。よって伏線として「必ず演習しておきたい最重要問題」も併せて詳解し、自信をもって、2月8日の日大医学部受験日を迎えられるよう、万全の体制を整えていきます。

Windom
医学部予備校ウインダム

実戦模試は以下の傾向に沿って作成されます。



日大の英語傾向

日大では、これまでは英問英答問題に象徴されるような、記述型の独特な問題がその特徴でした。しかし2010年度以降は、これまでとは打って変わって客観問題を中心とした構成になりました。

このような傾向は、総体的な入試英語の平易化の流れに乗るもので、その意味では何も日大医学部に限ったことではありません。総じて言えば、センター試験に象徴されるような問題の低位標準化という現象は、昨今の入試英語の傾向です。そして、画一的な思考パターンで済むような問題難易度の低下という点では、センター試験と同様に、かなりの高得点を取ることが必要とされます。

日大の数学傾向

3年連続で小問集合が出題され、この形式が定着してきました。問題のレベルは、2011年度は小問集合の場合、基本的な易問が出題されていました。出題分野は、数Iは他分野に比べて出題が少ないですが、08・09・10・11年は連続して三角比・平面図形が出題されています。数IIでは整式の微積分・対数関数の出題が目立ち、06～10年は5年連続して放物線・円・三次関数と直線の囲む面積が出題されています。数IIIでは、極限・微分・積分・面積・体積・弧長すべての内容が出題されています(弧長は教科書から除かれています)。数Bでは矢線ベクトルの出題が多く、平面・空間共に出题されています。数列の漸化式はそのまま出題されることもあります。行列・極限の問題に含まれる形で出題される場合もあります。数Cでは行列が02・04・06年と隔年で出題されていましたが、5年振りに11年は、1次変換とケーリー・ハミルトンの式を利用する問題が出題されました。



日大の化学傾向

2012年はマーク式3年目となります。過去2年間の小問数-マーク数は、10年18-35、11年は15-40でした。知識選択・正誤・計算問題とマーク式の解答形式としては、一般的なものです。計算問題は、計算結果の数値をマークするものではなく、正しい答(数値)に最も近いもの(ピッタリの数値の設問もある)を選ぶものです。最近、他大学でもみられる傾向ですが、日大も多くの分野・単元の設定問を用意し、受験生に選択させ、より多くの解答(数)を示させるタイプが多く出題されます。正誤問題は、「5～9つの文の中から誤りを1つあるいは2つ選ぶもの」と、「複数の正誤を判断させ、正しい組み合わせを1つマークさせるもの」の2つのタイプがあるので注意したい。

難問奇問は以前と同様みられないので、高得点での争いとなります。

日大の生物傾向

マークシートに移行してから2回の入試を経たわけですが、1回目は驚くほど簡単で、どの医学部予備校の解答速報でも、解答を間違えることはなかったのですが、2回目の今年はやや難解なものが含まれており、予想通り解答速報でも誤りが散見されました(本模試の参加者のみが完全な解答と解説を得られます)。さらに、まだ難度は十分ではないと思われるので、次回は2回目よりやや難化すると考えた方がよいでしょう。受験生が独自に可能な対策としては、過去2回の問題と、マークではないのですがそれ以前の過去問演習ということになるでしょう。過去問などをベースにしたマーク式の問題は、ウインダムが用意するので、本模試を受講することによって過去問演習の成果の確認になり、これ以上ない状態で本番に臨めるでしょう。他予備校の生徒の受講を特に歓迎します。ウインダムの生物は、他予備校の生物とはあらゆる意味において、次元が異なることを知ると良いでしょう。

日大の物理傾向

試験時間は理科2科目で120分。時間内にぎりぎり解けそうな問題量です。力学・波動・気体・電磁気の4つの分野から、偏りなく出題されていますが、単振動とシリンダー内の気体について、多く出題されています。2010年度からマーク式の問題になり、マーク式になったことで解答を選ぶ分、問題設定の把握ミスによる失点をしなくて済むようになりました。また、マーク式の問題に変わったとたんに問題が易化する事はよくありますが、日大もやはりそうなり、それほど難しい問題は見あたらなくなりました。基本～やや応用といった難易度で、一見すると7～8割ぐらいはとれそうなレベルですが、しっかりと考えなければ解けない問題も含まれていて、それが解けるかどうかの分かれ目となります。

申込要項

1. 下記申込書に必要事項を記入して、提出してください(郵送・Faxでも結構です)。定員になり次第締め切ります。
2. 申込書提出後学費請求書を郵送いたします。
3. 受講料金 32,500円(税込)
4. 受講料金を下記の口座にお振込ください。

三井住友銀行 渋谷駅前支店
普通預金口座 口座番号:2740761 口座名:カ)ウイングダム

5. お振込みいただきました受講料金は、理由の如何にかかわらず返金できませんので、ご了承ください。



日本大学医学部入試 実戦模試 スケジュール

1月2日(月)	実戦模試	10:00~12:00 (120分)理科 休憩50分 12:50~14:05 (75分)英語 休憩25分 14:30~15:45 (75分)数学
1月3日(火)	答案返却と解答解説 重要問題詳解	10:00~13:10 英語 13:50~17:00 化学
1月4日(水)	答案返却と解答解説 重要問題詳解	10:00~13:10 数学 13:50~17:00 生物/物理

2011年度 日本大学医学部実戦模試

氏名	英語	順	数学	順	化学	順	生物	順	物理	順	総合	順	判定
...	71	10	60	1	82	3	79	2			292	1	A
...	77	5	38	12	84	2			89	1	288	2	A
...	79	3	36	14	85	1	76	4			276	3	A
...	73	6	60	1	69	5	70	10			272	4	A
...	78	4	46	7	61	11	86	1			271	5	A
...	94	1	54	4	43	24			66	6	257	6	A
...	69	14	57	3	61	11	69	12			256	7	A
...	72	7	44	9	50	19			81	3	247	8	A
...	71	10	41	10	57	15	76	4			245	9	A
...	63	21	40	11	63	10	78	3			244	10	A
...	70	13	28	19	64	7	75	7			237	11	B
...	66	19	35	15	65	6	69	12			235	12	B
...	50	32	48	6	57	15	76	4			231	13	B
...	68	17	20	28	77	4			57	13	222	14	B
...	58	25	37	13	64	7	63	17			222	14	B
...	61	22	28	19	60	13	70	10			219	16	B
...	57	26	45	8	35	29			80	4	217	17	B
...	72	7	22	27	50	19			69	5	213	18	B
...	69	14	23	24	57	15			60	11	209	19	B
...	54	29	19	30	52	18			83	2	208	20	B
...	81	2	26	23	35	29	56	21			198	21	C
...	48	33	50	5	39	26			60	11	197	22	C
...	67	18	20	28	43	24			64	8	194	23	C
...	71	10	28	19	32	32			63	10	194	23	C
...	57	26	30	18	37	27			66	6	190	25	C

日本大学医学部入試 実戦模試 受講申込書

氏名				男・女
住所	〒			
在籍・ 出身高校			卒業年度 (卒業生のみ)	
連絡先 Tel			選択科目いずれかに○	化学・生物・物理

郵送・FAX・TEL等でお申込ください。

TEL 03-5469-8578
FAX 03-5469-8587

